

豊島区文化財展2017

はじめに

豊島区では、1986年に文化財保護条例を制定し、地域の歴史、文化や、昔の人々の生活の様子がわかる貴重な文化財の保護に取り組んでいます。これまでに区指定文化財14件、区登録文化財334件を、次代に残すべき文化財として指定・登録し、所有者のご協力を得て、その保護と普及に努めています。さらなる文化財の調査も進めており、埋蔵文化財の調査では、新たな発見が相次いでいます。

今回は、江戸時代の遺跡から出土したさまざまな「玩具」に焦点を当て、玩具から見える当時の子どもの暮らしについて紹介します。

江戸の玩具と子どもの世界

江戸時代の子どもたちは、現代の子どもたちと同じように、様々な遊びを楽しんでいました。江戸時代中頃になると、いろいろな種類の玩具が「商品」として庶民向けに売られるようになります。手作りの玩具ではなく商品化された玩具を用いた遊びは、都市的な遊びであるといえるでしょう。

こうした玩具には、絵すごろくや羽子板など、紙や木でできたものも多く見られますが、遺跡から出土するのは、粘土をこねて焼いて作った土製の玩具が中心です。また当時の玩具は、子どもの成長を願う信仰とも深い関わりがありました。土製の玩具を用いる遊びは、当時の子どもの遊びのごく一部ではありますが、遺跡から出土する小さな玩具から、子どもの遊びや暮らしについて多くのことがわかります。

大人をまねる —ままごとと道具—

子どもの遊びにおける重要な要素は、それが大人の真似ごと、模倣であるということである。この真似ごと遊びの代表格として、ままごと遊びが挙げられます。「まねぶ」ことはすなわち「まなぶ」ことでもあるため、ままごと遊びは女の子の教育という役割も兼ねていたようです。



ままごとと道具で遊ぶ女の子

「風流おさな遊び」歌川広重（公文教育研究会所蔵）より

ままごと遊びは、平安時代にまで遡るとされる古い遊びですが、ままごと道具を持つことができたのは、主に貴族の子どもたちでした。江戸時代になると、雛祭りなどの節句行事が庶民の間にも広く浸透し、節句行事の中でままごと道具が活躍するようになりました。子どもたちは、小さな食器や調理器具を使って、大人たちの宴を再現して楽しんでいたことでしょう。



ままごと道具

遺跡から出土するままごと道具には、子どもの遊びといえども実生活さながらの豊富なバリエーションがありました。

土製玩具の普及

江戸の中心部では、江戸時代前期（17世紀頃）から土製の玩具が出土していますが、その量はわずかです。大量に出土するようになるのは、江戸時代中期（18世紀後半）以降のことです。豊島区内の遺跡においても、江戸中心部と同様、18世紀後半から19世紀前半にかけての時期に、伊勢津藩藤家下屋敷などの武家地、巢鴨町や染井の植木屋、雑司が谷の鬼子母神堂周辺などから土製玩具が多く出土するようになります。

こうした土製玩具の出土の様相から、江戸中心部の子どもの遊びの文化が、江戸縁部に位置する豊島地域の町や村へと広がり、庶民の子どもたちにも広く親しまれていたことがわかります。

大人の遊びをまねる ―泥面子の仲間たち―

子どもたちは、大人の遊びを真似ることも得意としていました。

庶民の大人の間で流行していた遊びに、「^{ぜにうち}銭打」や「^{あないち}穴」とよばれた銭を投げ打つ遊びがあります。子どもたちは当初、これらの遊びを真似て、木の実や貝を打って遊んでいました。そこへより銭の形に近い泥面子（^{どろめん こ めんちよう}面打とも呼ばれる）が生産されるようになると、瞬間に子どもたちの間に広まりました。

また、面に関連する玩具として、泥面子の他に^{めんがた}面模と^{け し めん}芥子面があります。^{めんがた}面模は、型に土を入れて面を作るもの、^{け し めん}芥子面は小さな素焼きの面で、コレクションの対象としてだけではなく、泥面子遊びの道具としても活用されていたようです。



^{めんがた}
面模



^{け し めん}
芥子面



^{めんちよう}
面打（泥面子）

◆ コラム ―泥面子の遊び方― ◆

泥面子や土玉を打つ遊びについては、文献記録や伝承からその遊び方を知ることができます。ここではその代表的なものを紹介します。

穴

地面に直径12cmほどの穴を掘り、1mほど離れたところから銭や土玉、泥面子などを投げ、穴の中に入れられるかどうかを競う遊び。

きず

泥面子遊びの代表例。図のような区画を描き、その中のある区画にあらかじめ泥面子を置く。その泥面子を狙って投げ、重なればそれを取ることができ、その区画から外れれば相手に面子を取られる。



泥面子遊び「きず」を楽しむ子どもたち
(再現)

人形と信仰



土人形

- ① 稻荷:到富・繁盛祈願
- ② 西行:盗難除け・腹痛（疝気）のまじない
- ③ 鳩笛:子どもが胸に食べ物をつかえないためのまじない
- ④ 天神:学問・書道の神様
- ⑤ 土鈴:魔除け・招福・開運

江戸時代において、人形は子どもが手に持って遊ぶ玩具であるだけではなく、信仰の対象でもありました。特に幕末になると、人物や動物を象った土人形つちにんぎょうが寺社詣での土産物として広く庶民に親しまれるようになりました。これらの人形には、三月や五月の節句飾り用に作られたもののほかに、病気災難除けなど縁起物として作られたものも数多くあります。人形が持つ御利益からは、当時の人々が子どもに対してどのようなことを願っていたかがわかります。

土人形ができるまで

土人形をよく観察すると、側面につなぎ目のような痕が見られます。これは、人形の表側と裏側を型で別々に作り、貼り合わせているためです。また、一部の土人形には白や赤などの顔料が残っており、本来は彩色されていたことがわかります。これらの土人形の作り方は、江戸時代後期に農学者大蔵永常が刊行した『広益国産考』という農書の中でも詳しく説明されています。型があれば簡単に作ることもできる土人形は、安価で大量に売られ、庶民の間に広まっていきました。



『広益国産考』に描かれた土人形の製作風景 型に土を入れて人形の形を作る様子(左)、焼いた人形を窯から出してほこりを掃っている様子(中央)、人形に彩色している様子(右)が描かれています。

子どもにまつわる信仰

子どもに関する信仰は、玩具以外の遺物や遺構からもうかがうことができます。その一つの例として、^{え な まいのう い こう}胞衣埋納遺構が挙げられます。

^{え な}胞衣とは、出産の際に排出される^{たいばん}胎盤のことで、江戸中心部および巣鴨遺跡や染井遺跡を含む江戸周縁部では、合せ口にした2枚のかわらけに^{え な}胞衣を入れて土中に埋納し、子どもの成長を祈願するという儀式がありました。^{まいのう}埋納場所は、屋敷と^{へり}縁など、「境界」とされる場所が多く選ばれました。^{え な}胞衣は、子どもと共に母胎の中で育った分身のような大切な存在でありながら、得体の知れないものであり、「どっちつかずの存在」として「境界」に納めていたようです。



エクセルイン巣鴨地区出土のかわらけ



巣鴨遺跡エクセルイン巣鴨地区の^{え な}胞衣埋納遺構群 巣鴨遺跡エクセルイン巣鴨地区では、屋敷と通りの境に沿って合せ口のかわらけが埋納された様子が確認されました。

おわりに

江戸時代の遺跡から出土した玩具からは、活き活きと遊ぶ子どもの姿が見えます。都市では多種多様な玩具が商品として生産され、豊かな遊びの文化が花開きました。一方で、「七つまでは神の子」と呼ばれたように、当時は乳幼児死亡率も高く、子どもたちは厳しい生活環境の中で生きていました。子どもが生と死の間を移ろいやすい存在であったからこそ、子どもの成長を願う信仰が栄えたのでしょう。

江戸時代の子どもの暮らしは、玩具に囲まれて賑やかに遊んでいたという点で、現代にも共通していますが、より厳しい生活環境の中で、信仰とより深く関わっていたという点で、現代とは大きく異なっていました。

一つ一つの玩具は小さなものですが、暮らしの豊かさと厳しさという子どもの世界の二面性が表されているといえるでしょう。

豊島区の指定文化財

豊島区には348の登録文化財があります（平成24年4月現在）。その中から、特に重要なものを豊島区指定文化財としています。

ながさき し まい

【長崎獅子舞・用具一式】 〈◎伝承地：長崎 1-9-4 長崎神社 ◎伝承者：長崎神社氏子会〉

◇長崎獅子舞は、五穀豊穡と疫病退散を願って、旧長崎村の人々によって伝承されてきました。元禄年間（1688-1704）に長崎村の伊佐角兵衛が、病氣平癒の御礼に獅子頭を奉納したことに始まるといわれています。獅子頭をかぶり、腹に太鼓をつけた三匹の獅子が、ササウをもつ四人の花笠と共に篠笛の音にあわせて勇壮に舞い踊ります。



もくぞうしゃ かによらい ざ ぞう

【木造釈迦如来坐像】 〈◎所在地：駒込 7-4-14 ◎所有者：勝林寺〉※ 非公開



◇勝林寺は、元和2（1616）年に江戸幕府の御殿医中川元享が湯島に創建し、田沼意次が中興再建した臨済宗の寺院です。

この像は一本造りで眼は彫眼、肉身は漆箔、着衣は漆塗りです。高さ50.5cmと小像ですが、堂々とした大きさを感じさせます。また、面相には威厳をそなえ、衣は彫りが深く、かなり装飾的であることから、平安時代初期（9世紀末）の制作と推定されます。

れん げ さんこんごういんぶつしょう じ さんもん

【蓮華山金剛院仏性寺山門】 〈◎所在地：長崎 1-9-2 ◎所有者：金剛院〉

◇金剛院は、大永2（1522）年創建の真言宗豊山派の寺院です。この山門は安永9（1780）年に建立されました。天明年間（1781-89）の大火の際に、江戸市中の罹災者を多く助けた功績により、10代将軍徳川家治から朱塗りの山門（赤門）を許されたといえます。その装飾は彫りが深く、意匠的・技術的に優れており、区内で最も古い薬医門と考えられます。



いけぶくろ ふ じ つか

【池袋富士塚】 〈◎所在地：池袋本町 3-14-1 ◎所有者：氷川神社〉 ※7月1日のみ公開

◇富士塚とは、富士山を信仰・参拝する富士講組織によって築造された人工の山です。

区内にはほかに長崎富士塚（高松2-9-3、昭和54年国指定重要有形文化財）があります。

高さ5m。明治45（1912）年6月に池袋月三十七夜元講によって築かれ、平成24年に築造100周年を迎えました。毎年7月1日に山開きが行われています。



ろく ひ えい し ちよ ひ

【鹿碑・瘞賜猪碑】 〈◎所在地 駒込 1-10-15〉

◇旗本の本郷泰行とその孫の泰固が、自らの事跡を後世に伝えるために造立した石碑です。写真右側の鹿碑には、寛政7（1795）年に11代将軍徳川家斉が下総国小金原で鹿狩を行なった際に、泰行が将軍から鹿を下賜されたことが記されており、左側の瘞賜猪碑には、嘉永2（1849）年に同じく小金原での鹿狩で12代将軍家慶から泰固が猪や兎を下賜されたことが刻まれています。



ふ じ もとばやし

【富士元囃子・用具一式】 〈◎伝承地：要町 1-38-9 ◎伝承者：富士元囃子連中〉



◇富士元囃子は、明治40（1849）年頃に長崎村の本橋重太郎が習い覚え、地元の浅間神社および長崎神社の祭礼時に奉納したことに始まります。本橋家が浅間神社境内にある長崎富士塚の富士講の先達を長年務めていたことから、富士元囃子と名づけられたといわれています。9月第2土・日の秋の祭礼では御輿を先導する囃子が要町一丁目界限を練り歩き、祭りを盛り上げます。

きゅう え ど がわらん ぼ てい ど ぞう

【旧江戸川乱歩邸土蔵】 〈◎所在地 西池袋 5-15-17 ◎所有者 学校法人立教学院〉



◇この土蔵は、推理小説家の江戸川乱歩（1894-1965）が昭和9年から昭和40年まで住んでいた池袋の屋敷にありました。乱歩はこの土蔵を書庫兼書斎として愛用し、ここで『怪人二十面相』・『少年探偵団』などの名作が生まれました。

関東大震災の翌年（大正13年）に建てられたため、壁や屋根裏は耐震対策を意識した工法となっています。土蔵の内部には、2万冊以上の乱歩の蔵書が当時の状態で保存されています。

^{そめ い せき みつびしゅうこうぎょうそめい}
【染井遺跡(三菱重工染井アパート地区)出土化粧道具他一括】 〈◎管理者：豊島区〉

◇現在の駒込駅から染井霊園の前までの場所は、江戸時代に津藩藤堂家の下屋敷・抱屋敷がありました。平成7（1995）年の発掘調査で、江戸時代後期の紅化粧・白化粧・お歯黒・眉化粧・髪化粧に関する道具一式が、良好な状態で出土しました。これらは藤堂家または有力家臣の家族が使用していたものと考えられます。また、一緒に出土した筆立てやキセルなども、上級武士階級の女性の日常生活を知る上で貴重な考古資料といえます。



^{もくぞうしゅうかんのりんりゅうぞう}
【木造聖観音立像】 〈◎所在地：池袋本町 2-3-3 ◎所有者：重林寺〉※ 非公開

◇本像は、高さ126.5cmのカヤ材の一木割剥ぎ造りで、裳が膝下でくびれた珍しい形姿の仏像です。明治43（1910）年に、15代住職真誠が伊勢崎市境町周辺の寺より購入したものと伝えられます。平成15（2003）年に行われた解体修理の結果、鎌倉時代後期（13世紀後半）の作と判明しました。



^{きゅうに わ けうでぎもん}
【旧丹羽家腕木門】 〈◎所在地：駒込 3-12-8 ◎所有者：豊島区〉

◇駒込（染井）は、江戸時代から植木の一大生産地として知られていました。丹羽家は、天明年間（1781-88）から明治末期まで、染井を代表する植木屋として活躍した旧家です。

この門は言い伝えでは、染井通りをはさんで向かい側にあった津藩藤堂家下屋敷の裏門を移築したといいます。江戸時代の腕木門は区内で唯一の事例です。



^{きゅうすず き けしゅうたく}
【旧鈴木家住宅】 〈◎所在地：東池袋 5-52-3 ◎所有者：豊島区〉

日本の著名なフランス文学研究である鈴木信太郎（1895-1970）と、息子で建築学者の鈴木成文（1927-2010）の住宅でした。「書斎棟」は大正10（1921）年建設、



「茶の間・ホール棟」は終戦直後の建築制限令下に建てられたものです。「座敷棟」は埼玉県内から移築したもので、明治20年代の建築とされています。大正期以来の時代の変化のなかで住みつがれてきた痕跡を追うことができる点が評価されています。